

皆さんの希望です 請願・陳情

請願

●若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願
：不採択

①年金の隔月支給を毎月支給に改めること。

②年金支給開始年齢の引き上げを実施しないこと。

〔提出者〕

全日本年金者組合取手支部 支部長 菅生 隆氏他 266人

〔紹介議員〕

遠山議員

〔討論〕

小池議員：制度の実現を強く望む。毎月支給による事務手数料増は無駄ではない。反対の余地はない。賛成。

落合議員：隔月支給を毎月支給に改めると、新たに事務手数料が発生してしまう。厳しい財政状況の中、見過ごせない。反対。

池田議員：支給を引き上げるには、雇用と健康がセット。生活、健康が保障された上で実施すべき。賛成。

陳情

●福祉会館小ホール入り口のバリアフリー化に関する陳情（バリアフリー取手

文化）：採択

①階段側壁に斜行型段差解消機、又は階段に向かい左奥に鉛直型段差解消機のいずれかを設置すること。

②階段左右両側にパイプ状の手すりを設置すること。

〔提出者〕

斉藤たかし氏他262人

〔討論〕

遠山議員：どうしたら改善できるのか考えてほしい。提案をしっかりと受け止めなければならぬ。賛成。

小堤議員：福祉会館は今後何十年も利用していく方針。多少費用をかけても技術的に可能であれば、実現に向けて検討してほしい。賛成。

池田議員：制度の実現を強く望む。毎月支給による事務手数料増は無駄ではない。反対の余地はない。賛成。

落合議員：隔月支給を毎月支給に改めると、新たに事務手数料が発生してしまう。厳しい財政状況の中、見過ごせない。反対。

池田議員：支給を引き上げるには、雇用と健康がセット。生活、健康が保障された上で実施すべき。賛成。



福祉会館小ホール入口

●「相馬88ヶ所」の活用を提唱する陳情：採択

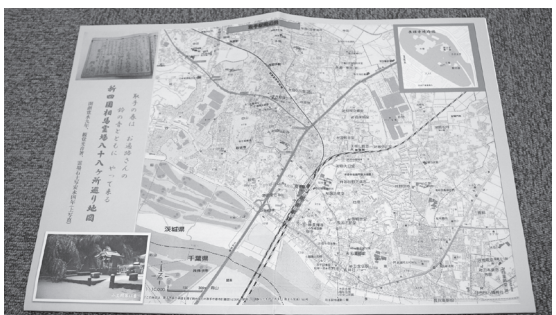
「相馬88ヶ所」を、健康増進、市民協働、文化芸術と産業振興と併せ、広く市民に「ほどこく」魅力発信すること。

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

飯島議員：地域の活性化に資する魅力のある文化的資源の活用を望む。お寺巡りをする若者が増えているという流れもあり、体制づくりを求める。賛成。



新四国相馬霊場を巡る会と産業振興課が作成した「相馬88ヶ所」の地図

●「提案」を名目とする議事事務局の発議、発言の差し止めを求める陳情：不採択

①議事事務局の発議、発言を差し止めること。

②採決は投票用紙による無記名投票とすること。

〔提出者〕

坂入基之氏

〔討論〕

佐藤（隆）議員：事務局の提案を議長が理解し、議員

が決断している。議員と事務局が一体となった改革を今後も続けたい。反対。

加増議員：事務局は、議会の権能が十分に発揮できるように努め、補助機関として役割に徹するべき。賛成。

赤羽議員：先進自治体議会

は、議員と事務局職員の両輪で議会づくりに取り組んでいる。取手市議会は、早くから市民に分かりやすい議会を目指している。反対。

結城議員：議会と事務局は一体となって、議会改革を進めていく必要がある。この陳情を教訓に、切磋琢磨して

いかなければならない。反対。吉田議員：取手市議会は、議員と事務局職員が言い合える環境にある。この陳情を採択したら、取手市議会の良さはなくなる。反対。

池田議員：この陳情が出された責任は議員にある。議員がより頑張らなければいけない。自分自身の猛省も含め、反対。

岩澤議員：事務局からの提案を差し止めることは、良い方向に向かうことなのか疑問。議員としての職務を全うすることを誓い、反対。

染谷議員：共産党が「事務局が公正でない」という内容の記事を市内に配布した件は、事務局に謝罪したはず。しかし、委員会での関戸委員の討論は反省が見えず、事務局職員を批判する

内容。許し難い。反対。加増議員：事務局に対し、士気を下げ、迷惑を掛けたことについての謝罪。染谷議員に反論する。

染谷議員：加増議員が、事務局に謝罪したという事実を認めるならば、問題ない。

●再任用職員の運用に関する陳情：不採択

再任用職員の運用を見直し、市内パトロールの運用を取り入れること。

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

関戸議員：再任用職員の経験や知識を若手職員に伝える知的財産の継承とも言える提起。賛成。

●「電話番号」という議員に対する懲罰の事実関係の究明と報告のため100条委の設置を求める陳情：不採択

①懲罰がどのような経過で決定、実施されたのか、事実関係の究明と報告のため100条委を設置すること。

②採決は、投票用紙による無記名投票とすること。

〔提出者〕

坂入基之氏

〔討論〕

赤羽議員：事務局や議長からの協力要請であり、強制ではなく、拘束された意識もないと当該議員は発言している。事実誤認。反対。

関戸議員：事務局の役割を超えた行為であり、事務局

の反省を求めるが、百条委の設置は必要はないと考える。反対。

吉田議員：地方自治法に規定する懲罰や、人権侵害には当たらない。事実関係も明らかになった。反対。

池田議員：事実であれば法律違反だが、本人も懲罰だと考えていない。当時その議員と同じ部屋にいたが、懲罰による電話番号という感じはなかった。反対。

●取手市議会派代表者会議を公式会議とすることを求める陳情：不採択

〔提出者〕

坂入基之氏

〔討論〕

赤羽議員：傍聴を認め、基本的に概要の記録も取っている。議会と執行部、会派同士の意見の擦り合わせが行われ、お互いの理解が深まる効果が見られている。現状で支障はない。反対。

竹原議員：議会の活動原則でもある透明性を確保する上でも、さらに開かれた議会になると確信する。賛成。

関戸議員：開かれた議会を目指す取手市議会へさらなる進展を求める陳情。記録を残す公式会議とすべき。賛成。

池田議員：会議の詳細をホームページで公開する自治体もある。開かれた議会をもう一步進めるため、賛成。

池田議員：会議の詳細をホームページで公開する自治体もある。開かれた議会をもう一步進めるため、賛成。